

開催日時： 2006年5月18日(木) 16:00~19:00
 場所： 名張シティホテル 3F 天平・白鳳の間
 参加者数： 委員8名 河川管理者(指定席)10名 一般傍聴者79名

1. 決定事項：特になし

2. 報告の概要：庶務より報告資料1~3を用いて説明がなされた。

3. 審議の概要

① 河川整備計画基礎案に係る事業進捗状況の点検について

河川管理者より審議資料「河川整備計画進捗状況報告項目」を用いて説明がなされた後、委員との意見交換がなされた。主な意見は以下の通り(例示)。

○計画-1-1 河川レンジャー

- ・河川管理者から「河川レンジャーはボランティアでよいのではないか」という説明があったが、ボランティアとは「強制されない」という意味で、「無償・有償」とは関係がない。最近ボランティア活動であっても一定の費用を支払うのが基本的な考え方となっている。明確な見解を述べておいた方がよい。
- ・各河川事務所によって制度の中身や進捗状況に差があるが、共通する成果や課題が出てきているだろう。これらを報告して頂いた上で、地域特性を踏まえた河川レンジャー制度のために何を検討すべきなのかを報告して頂ければ、委員側もより具体的な意見が言える。次の機会にお願いしたい。
- ・委員会の「河川レンジャーは河川管理者から独立した立場で活動する」という提案を配慮して欲しい。
- ・河川レンジャーの役割・地位、身分、報酬等の基本的な事項については河川管理者で検討を進めているとのことだが、これらは、若い人に積極的に取り組んでもらうためにも保証されるようにすべき。

○環境-3-10 縦断方向の河川形状の修復の実施

- ・魚道改善について、堰の管理者(電力会社等)に働きかけているとのことだが、例えば、条例のような強制力を持った推進のテコとなるような方法がないのか。
 ←現段階では「指導」「助言」までが河川管理者になし得ることであり、「命令」の権限はないと考えている。洪水時の危険性があるのであれば、改善命令を出すことはあり得るが、環境面から「魚道をつくれ」という命令をしたことはない(河川管理者)。
 ←木津川上流の慣行水利権だけで13m³/s程度の取水量になると思う。魚道について考える際には、流量についても示さないといけない。慣行水利権の許可水利権への切り替えまで含めた議論が必要だ。
- ・ハーフコーン魚道等の新たな手法がこの流域で実現できるかどうかを検討して欲しい(部会長)。
- ・本日の説明で実態を表す具体的な数値(遡上率)が示されたことは評価できる。魚道が機能するように、河川管理者が取り組んでいくべきだ。

○環境-9-1 琵琶湖・淀川流域水質管理協議会(案)の検討

- ・基礎案にて「活性炭処理やオゾン処理をしていることを鑑みて、環境基準を達成していることに満足せず、水質改善に向けた意識改革が必要だ」としている点は評価できる。原水管理が非常に重要だ。その対策として総負荷量管理に向けた取り組みがあげられているが、「河川水質予測モデルイメージ」を定量的に示すことができれば、説得力を持ったものになっていくと思う。
- ・抑えにくい汚染源をすべて市民負荷や面源汚染源に求めるのは危険だ。河川水質予測モデルの信憑性の基準のポイントになっていく。水質予測モデルができた後に、実際に総負荷量の制御が可能なのか、住民やNPOとともに推進できるのかといった検討と報告もお願いしたい。
- ・下水道整備の進捗には時間を要するとしても、下水道整備等のハード対策も重要だ。また、田畑と畜産に関連して、農林水産省等の他省庁との連携にも力を入れてもらわないといけない。

○環境-12-4 既設副ダムの継続活用

- ・フラッシュ放流はダム湖水質改善を目的としたものなのか。フラッシュ放流のマイナス面はないのか。これまでに排除した堆砂は全体の何割程度なのか。
 ←副ダムの上流で栄養源を沈降させ毎年浚渫して活用している。このうち、よい部分の砂を下流に置いてフラッシュ放流している。これは土砂の連続性確保のためのトライアルだ。布目ダムの堆砂容量は100年で190万m³を計画しており、約15年間で31万m³(16%)堆砂した。上流の副ダムからの浚渫(4~5%)効果と合わせて、ほぼ計画通りに進んでいると考えている。(河川管理者)。
- ・ダムによる土砂の連続性遮断問題は解決の目処が見ついたという河川管理者の発言が目立ってきているが、

そうは思わない。まだ解決できていないという認識で取り組んで欲しい。

- ・副ダムでどの程度リンが沈殿したのかを明らかにしなければリンの沈殿機能が大きいとは言えない。また、フラッシュ放流のマイナス面を検討するため、下流のシルトの濁りについて検証すべきだ。

○環境-17-5 オオサンショウウオの生育環境を保全する

- ・環境容量を考えた上でオオサンショウウオを移転するというのが本来の順序ではないか。現状は同時進行になってしまっている。なぜこの順序で試験を進めているのか、疑問に思う。

○治水-1-1-3 水害に強い地域づくり協議会

- ・現段階では「かけ声あわせ」だと感じた。水害に強い地域づくり協議会としてさまざまな知恵を結集するならば、具体的なアイデアづくりをして欲しい。草津市は公共施設での浸水対策を義務づける条例を制定するが、このような具体的な施策に反映されることを目標とした検討をして欲しい。

○治水-5-1 上野遊水地事業

- ・検討が杜撰だ。相変わらず氾濫量で、しかもHWLを超えたら氾濫するという条件で計算をしており、実態を現していない。越流堤延長4kmを越流係数で計算していると思うが、やはり水面形計算をしないといけない。また、肝心の模型実験がなされていない。遊水地をどう配置すればどの程度洪水がカットされるのかを岩倉峡の入り口でチェックすべきだ。岩倉峡のHQ問題も未解決のまま。
←越流堤の構造は決定したわけではない。今回は、上流に貯水施設を設けずに最大限遊水地を活用するためにいろいろなケースを検討した。まだ、越流程の諸元は決めていない。決めるときには、さまざまな検討を行った上でしっかりと決めていきたい（河川管理者）。

○維持-3-1 樹木の伐採と管理、維持-3-7 河道内堆積土砂等の管理

- ・淀川の下流域では原野性の植生が本来の姿だと考え、伐採のマニュアルを作成している。伐木基準も過去の基準とは違ってきている。現在の伐木基準を設定していくべきだ。

4. 一般傍聴者からの意見聴取：6名から発言がなされた。主な意見は以下の通り（例示）。

- ・木津川上流河川事務所は、岩倉峡流下能力検討会の答申内容（マニングの粗度係数 $n=0.0375$ 程度を採用するのは適切である）に反し、何の理由も示さずにもともと使ってきた n 値 0.045 に相当する水位流量曲線にこだわっている。流域委員会はこの理由を求め、徹底的に検討して頂きたい。また、川上ダム調査所がまとめた川上ダム治水利水計画検討調査報告書治水計画編平成3年3月版にて、川上ダム上流域の基本高水の検討を行っているが、ピーク流量 $1100\text{m}^3/\text{s}$ のハイドログラフに対し、時間雨量を示すものが一切備わっていない。さらに、対象降雨としている昭和36年豪雨は川上ダム近辺の観測としては流域外である阿保測候所の2日間総雨量 347mm が実績であり、河川管理者の川上ダム上流域平均2日間総雨量を 344mm としているにもかかわらず、根拠のない実績雨量 421mm を対象降雨として一律に引き延ばし、ピーク流入量を $1100\text{m}^3/\text{s}$ としている。今回情報開示された木津川上流降水検討資料の昭和36年豪雨川上ダム上流域平均2日間総雨量の実績値は、従来の発表と比べ 77mm 、 22.4% もかさ上げされている。異常に過大な基本高水を創作する非科学的欠陥検討に対し、委員会の正確な判断に基づいた審議を強く要望する。
- ・川上ダムの利水は伊賀市の $0.3\text{m}^3/\text{s}$ だけだ。伊賀市水道部や三重県企業庁と詰めた協議をすれば解決法は見いだされる。ダムのあるなしで「水害に強い地域づくり協議会」の活動内容も変わってくる。大滝ダムの地滑りも対岸の火事と思わずに、川上ダムについても検討して欲しい。
- ・オオサンショウウオの郷土史的な研究が行われていない。環境も含めて全ての個体を移転しなければ意味がない。「移転した生物が何匹生き残ったか」という調査では生態系全体を保全することにはならない。また、他の水生生物についても調査をしているとのことだが、定量的な調査がなされていなければ、比較できない。
- ・小泉川の魚道を見学してきた。2m近くあった堰が改修された。木津川上流では、堰の管理者が改修を了承していないという話が出ていたが、施設管理者に見学してもらってはどうか。
- ・ドイツでは上流の治水安全度を上げすぎたために下流域で被害が起きており、これを見直して、遊水地で溢れさせるという方向に転換した。川上ダムは岩倉峡がある限り、下流への直接的効果がない。遊水地機能を高めて、それ以上は流域対応でカバーすべき。提言実現のためには、上野地区の治水対策を見直すべき。
- ・河川管理者が魚道問題に必要な性を認めれば、本省まで意見を持っていくべきだ。桂川上流でも河川整備が行われているが、三面張の河川になり生態系がつぶされてしまっている。整備内容まで含めて見直すべき。

以上

※このお知らせは委員の皆様に必要な決定事項などの会議の結果を迅速にお知らせするため、庶務から発信させていただくものです。詳細については、結果概要、議事録をご参照下さい。